

知名町教育振興基本計画

【令和6年度～令和10年度版】



知名町教育委員会

知名町教育行政の基本方針並びに施策

I 基本方針

目標：学びを深め、心豊かでたくましく、郷土を愛する人づくり

知名町教育委員会は、鹿児島県教育振興基本計画並びに大島地区教育推進プランを踏まえ、教育の動向や本町の実態等も勘案しながら、本町教育行政の基本目標を『**学びを深め、心豊かでたくましく、郷土を愛する人づくり**』と定めます。また、目指す姿を「知・徳・体の調和がとれ、よりよい自分を目指して努力し、未来の社会の創り手となる人」、「自己肯定感や自己有用感を高め、豊かな社会づくりに主体的に関わる人」、「郷土を愛し、郷土の伝統や文化を尊重する人」、「グローバルな視野を持ち、コミュニケーション能力やICT活用能力を高める人」、「互いに認め、高め合いながら生涯学習に取り組み、生涯を通じて自己実現を目指す人」とし、様々な取組を通してその実現に努めます。

1 知・徳・体の調和がとれ、よりよい自分を目指して努力し、未来の社会の創り手となる人

生命や人権を尊重する心、利他の心、社会性、倫理観等を身に付けるとともに、学びに向かう力を高め、学習の主体者として探求的に学び続ける人を育成します。

2 自己肯定感や自己有用感を高め、豊かな社会づくりに主体的に関わる人

社会を構成する一員として、様々な活動を通して成就感や達成感を高め、科学技術の進展や国際化、情報化等に的確かつ柔軟に対応し、社会に奉仕する気構えのある人を育成します。

3 郷土を愛し、郷土の伝統や文化を尊重する人

郷土の伝統や自然、文化、先人等を知り、学びを深めるとともに、郷土に誇りを持ち、郷土の発展に尽くす人を育成します。

4 グローバルな視野を持ち、コミュニケーション能力やICT活用能力を高める人

様々な学習を通して異文化の理解に努め、自分の思いや願いを表現するとともに、タブレット等を活用して情報活用能力を高める人を育成します。

5 互いに認め、高め合いながら生涯学習に取り組み、生涯を通じて自己実現を目指す人

ニーズに応じた多様な学習機会を捉え、互いに交流を深めながら学習活動や文化活動、スポーツ活動等に取り組み、生涯にわたって自分を高める人を育成します。

※ 知名町教育委員会のキャッチフレーズ

こどもまんなか知名町 ～すべては子供たちの幸せのために～

Ⅱ 基本目標と施策の関連図

10年後を見据えた教育の姿

《基本目標》

『学びを深め、心豊かでたくましく、郷土を愛する人づくり』

- 1 知・徳・体の調和がとれ、よりよい自分を目指して努力し、未来の社会の創り手となる人
- 2 自己肯定感や自己有用感を高め、豊かな社会づくりに主体的に関わる人
- 3 郷土を愛し、郷土の伝統や文化を尊重する人
- 4 グローバルな視野を持ち、コミュニケーション能力やICT活用能力を高める人
- 5 互いに認め、高め合いながら生涯学習に取り組み、生涯を通じて自己実現を目指す人

今後5年間に取り組む施策

《本町教育の取組における視点》

- 1 時代を超えて変わらない価値のあるものの尊重
- 2 社会の変化に対応し、未来の社会の創り手となる資質・能力の育成
- 3 学校・家庭・地域・関係機関等との積極的な連携・協働
- 4 郷土の教育的な伝統や文化の尊重と未来への継承
- 5 教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進

《本町教育施策の方向性》



Ⅲ 本町教育施策の方向性

1 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進

(1) 道徳教育の充実

- 正義感、責任感、自他の生命の尊重、他者への思いやり、利他の心などの育成
- 「特別の教科 道徳」を要とした道徳教育の推進
- 児童生徒のよさを認め、意欲を高める「知名の子表彰」の推進

(2) 生徒指導の充実

- 自らの行動を決断し、実行する力の育成
- 問題行動等の早期発見・早期対応
- 不登校児童生徒のニーズに応じた支援
- 生徒指導提要の活用：自己肯定感や自己有用感等を育む発達支持的生徒指導の充実
- 学校・家庭・地域・関係機関との連携強化と相談体制の整備・充実
- スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの活用促進

(3) 人権教育の充実

- 人権月間・旬間の取組や人権作文等の取組を通じた児童生徒の人権尊重の精神の高揚
- 人権教育に関する研修会等を通じた教職員の意識高揚や指導法の工夫・改善
- 児童生徒の権利利益の擁護及びその最善の利益を実現するための取組の推進
- 人権擁護委員との連携促進

(4) 読書活動の推進

- 学校図書館の運営の充実
- 移動図書館車「えらぶつくカー」の効果的な活用
- 朝読書や読み聞かせ、読書集会などの活動の充実
- 「1日20分読書」運動や親子読書等の推進
- 読書活動に携わる人材の資質の向上

(5) 文化芸術活動の推進

- 本物の音楽や舞台芸術に触れる機会の拡充
- 郷土の伝統や文化を継承しようとする態度の育成

(6) 基本的な生活習慣の確立

- 早寝・早起き・朝ごはんの指導の徹底
- 「あいさつ先手運動」や朝のあいさつ指導の徹底
- 帰宅時間の遵守による家庭学習の習慣化
- ノー部活動デーの徹底
- メディア等の視聴に関する学校・家庭・地域の共通理解・実践

(7) 体力・運動能力の向上

- 積極的に体を動かすことやスポーツに親しむ習慣の育成
- 運動量確保による体育授業の改善・充実
- 体力・運動能力調査等の結果の活用による体力・運動能力向上の取組の推進
- 一校一運動の充実やチャレンジかごしまへの参加推進
- 運動部活動の地域移行の推進

(8) 健康教育の充実

- 学校保健委員会等、保健組織活動の充実
- 児童生徒の個別の健康課題の解決
- 学校給食における安心・安全な食材の使用や地産地消の推進
- 性に関する問題や喫煙・飲酒・薬物乱用、がん教育等、児童生徒の健康課題の解決に向けた関係機関等との連携促進

2 学びを深め、社会で自立する力を育む教育の推進

(1) 確かな学力の定着

- 大島地区「授業充実の3ポイント」を踏まえた質の高い授業の実践
- 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善
- 全国学力・学習状況調査、鹿児島学力・学習状況調査等の結果分析を踏まえた授業改善
- 学力向上アクションプランに基づいた取組の充実
- 習熟度に応じた指導体制づくりと習熟度別学習の充実
- 「かごしま学力向上支援Webシステム」や「知名チャレ」の活用促進
- AI型教材「Qubena」、授業支援アプリ「ロイロノート」などのICTの効果的利活用
- イングリッシュグリーンキャンプの実施

(2) 特別支援教育の充実

- 就学相談・支援の充実
- 校内支援体制の充実、関係機関等との連携強化
- 大島特別支援学校沖永良部特別支援教育コーディネーターの活用推進
- 特別支援連携協議会、教育支援委員会の充実
- 支援を要する児童生徒のニーズに応じた合理的配慮や環境整備
- 特別支援教育支援員の計画的な活用

(3) キャリア教育の充実

- 自分らしい生き方を実現していくキャリア発達の促進
- 社会的・職業的自立に向けて必要となる基礎的・汎用的な能力の更なる育成
- 「キャリア・パスポート」等の効果的な活用

(4) 郷土教育の充実

- 郷土に誇りを持ち、郷土のよさや魅力を表現できる人材の育成
- フィールドワークや文化財めぐり等を通じた教職員の郷土教育に関する理解促進
- 関係機関等と連携した地域伝統芸能の継承活動の充実
- 地域素材を生かした学習活動の推進
- 「わたしたちの沖永良部」改訂版の検討

(5) 教育の情報化の推進

- 公営塾の活用等、ICTを効果的に活用した児童生徒の情報活用能力の育成
- 児童生徒の発達段階に応じた情報モラル教育の充実
- 論理的思考力を高めるプログラミング教育の推進
- 学校におけるICTの環境整備

(6) 国際理解教育の充実

- ALTの効果的な活用等、グローバル化に対応した英語教育の充実
- 言語や文化が異なる人々と主体的に協働していくことができる力の育成
- イングリッシュグリーンキャンプを通じたコミュニケーション能力等の育成

(7) 「ゼロカーボンシティ宣言」を踏まえた環境教育の推進

- 自然保護や環境保全への意識を高める学習の推進
- 地域の環境保全への参加意識を育てる環境美化活動の充実
- 持続可能な社会の担い手の育成及びウェルビーイングの向上を図るための教科等横断的な環境教育の推進

3 信頼され、地域の核となる学校づくりの推進

(1) 開かれた学校づくり

- 学校評価を基にした学校経営のPDCAサイクルの充実・改善
- 学校、家庭、地域の緊密な連携の推進
- 「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」における取組の充実

(2) 学校運営の充実

- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
- 社会の要請に的確に対応できるようにするための管理職研修会の充実
- 教員業務支援員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどの支援スタッフの活用
- 学校評価等による学校運営の改善や学校組織の活性化

(3) 学校における働き方改革の推進

- 学校・教師が担う業務の適正化の一層の推進
- 学校における働き方改革の実効性の向上
- 教員業務支援員の配置・活用
- 校務支援システム「スズキ校務」の活用
- 中学校部活動の地域移行の推進
- 労働安全衛生管理体制の充実、教職員のメンタルヘルス対策

(4) 教職員の資質向上

- 教職員研修の内容の充実、精選、効率化
- 服務規律に関する指導の徹底
- 授業改善を目指した一人一研究授業の推進
- 「主体的・対話的で深い学び」の推進
- 授業を中心とした校内研修体制の確立、研修内容の充実
- 沖永良部秋季教育研究大会の共同研究や共通実践
- 島内実力テストの実施や生徒指導等における小・中・高連携の充実
- 学習指導、生徒指導の連携を目指した小・中連携の充実
- 「不祥事防止強化月間」（8、12月）等における取組や計画的な服務指導の徹底
- 「南北600kmの教育」、「学びの羅針盤」、「人権教育研修資料」の活用促進

(5) 地域人材の活用

- 先人の知恵に学ぶ体験学習の推進
- 地域人材の協力・支援による活動の充実
- 個別指導の充実や地域伝統芸能の継承を目指した地域人材の活用

4 地域全体で子供を守り育てる環境づくりの推進

(1) 地域の未来を担う次世代の人づくり

- 学校、家庭、地域が一体となった青少年の健全育成のための活動の推進
- 地域社会をリードする人材の育成
- 「沖永良部青少年赤十字一日リーダーシップ・トレーニング・センター」や「子ども会サマーキャンプ」等への参加促進

(2) コミュニティセンター的役割を果たす学校づくり

- 学校の実態に応じた学校緑化の推進
- 食育及び花育に関する連絡協議会への参加及び同連絡協議会との連携強化
- 社会教育団体の活動促進を図るための学校施設（体育館・運動場等）の計画的な開放

(3) 家庭の教育力の向上

- 各学校PTAや子ども育成会との連携を通した子育てを支援する基盤の整備
- 家庭教育学級の実施状況の確認・見届け、必要に応じた指導・助言
- 町PTA連絡協議会や町青少年育成連絡協議会等との連携強化

(4) 地域ぐるみでの安全・安心な学校づくり

- 地域全体で児童生徒の安全を見守る体制の整備
- スクールガードリーダーによる通学路等の安全指導
- 学校施設のバリアフリー化と予防改修の実施

5 生涯学習の環境づくりとスポーツ・文化の振興

(1) 生涯学習の充実

- 異年齢集団による生活体験活動や自然体験活動の推進
- 生涯学習フェスティバル等を通した生涯学習への機運の醸成
- 県民大学講座への参加促進
- 高齢者・障がい者スポーツ大会等の支援

(2) 公民館講座の充実

- 町民の多様なニーズに応じた講座・教室の開設
- 生涯学習フェスティバル等における展示会、発表会の実施

(3) 図書館運営の充実

- 利用者のニーズを把握した資料の収集・整理・提供
- 郷土関係資料の整理
- ブックスタートやおはなし会を通した幼児期からの読書活動の推進
- 団体貸出や移動図書館車「えらぶつくカー」利用を通した各こども園、保育所、学校との連携強化
- 親子読書団体との連携強化

(4) スポーツ活動の充実

- 町民がスポーツに親しむ機会の拡充
- スポーツや健康づくりに関する情報の提供
- スポーツ少年団指導者の育成

(5) 文化芸術活動の充実

- 優れた芸術鑑賞事業や多様な講演会等の実施
- 研修の充実や人材情報の提供

(6) 地域の伝統芸能・文化の継承

- 島唄・島ムニ大会の実施
- 地域に伝わる伝統芸能の継承活動の支援
- 町文化協会との連携強化
- 島ムニ継承推進協議会の設置・機能化

(7) 文化財の保存・活用

- 文化財等の調査・記録保存・活用
- 文化財を生かした郷土に誇りを持つ心の醸成
- 「沖永良部島の墓跡群」の国指定に向けた取組の推進